

令和2年度第4回自転車の活用推進に向けた有識者会議

第3回における各委員からのご意見



第3回における各委員からのご意見



委員からの主なご意見

目標及び施策体系について

- ✓ 新たな施策として2項目(多様な自転車の開発・普及、損害賠償責任保険等への加入促進)を追加する事務局案に同意。

計画の中間評価について

- ✓ 5年の計画期間の中でフォローアップを行う事務局案に同意。

交通安全について

- ✓ 高齢者の免許更新時の講習において、免許返納後の自転車の乗り方についても、一歩踏み込んだ講習をするべき。
- ✓ 配達目的で自転車を利用する事業者への安全指導が大事。
- ✓ 定量的な指標も大事だが、自転車の乗り方が変わったと人々が感じられるような指導教育を進めていくことが重要。
- ✓ 事故発生時に死亡事故に至る可能性が高い。死亡事故だけでも出来るだけでなくという発想が必要。
- ✓ 交通安全教育の量が充分なのか疑問。学校だけでなく、未就学児やその保護者の安全教育も重要。
- ✓ 自転車の走行位置が個人の判断に委ねられているのではないかと懸念。
- ✓ 学校における交通安全教育の推進の指標について、実績値が下がっている理由を整理いただきたい。

多様な自転車の活用について

- ✓ 身体機能に応じた自転車利用をアドバイスできる人材育成については、アドバイザー制度はあっても実際に育成できていないという実態を受け止めるべき。
- ✓ 身体機能に応じた自転車利用の指導の人材育成や、多様な自転車の開発・普及について、指標設定の検討をお願いしたい。

その他

- ✓ 反対は多いと思うが、限られた空間を有効利用するために、必要性の薄くなった街路樹を撤去して自転車通行空間を整備する選択肢もあるのではないかと。
- ✓ 横串の施策が多いので、「多様な自転車の活用推進」と同様、様々な施策が組み合わさって効果を発揮するような施策体系があり、それらを総合的に展開していくという計画の姿を示すのがよい。

今後の進め方(案)

